

第1回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会

- 日 時 平成27年7月29日(水) 午後2時～4時
- 場 所 府中市役所北庁舎3階第3会議室
- 出席者 委員側：都留会長、並木副会長、鬼山委員、加藤委員、川崎委員、嵯峨委員、
鈴木委員、中島委員、藤田委員、堀江委員、宮嶋委員、森委員
事務局側：高野市長、町田政策総務部長、五味田政策総務部次長兼政策課長、
佐藤政策課主幹、大沢政策課長補佐、大木主査
- 内 容
- 1 委嘱状の伝達
 - 2 市長あいさつ
 - 3 委員紹介
 - 4 正副会長の選出
 - 5 諮問書の伝達
 - 6 議題
 - (1) 会議の公開について
 - (2) 府中市人口ビジョン及び府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の考え方について
 - (3) 府中市の人口動向に関する課題認識について
 - (4) 府中市における総合戦略の方向性について
 - (5) アンケート調査結果の速報について
 - (6) その他
- 配布資料
- 資料1 府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会委員名簿
- 資料2 府中市附属機関の設置等に関する条例
- 資料3 府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会規則
- 資料4 府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の会議の公開について(案)
- 資料5 府中市人口ビジョン・府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の考え方について
- 資料6-1 府中市の人口動向に関する課題認識について
- 資料6-2 人口動向、将来人口推計に関する分析について
- 資料7 府中市における総合戦略の方向性について
- 資料8 定住・子育てに関する意識調査結果(速報版)
- 傍聴者 3名

1 委嘱状の伝達

2 市長あいさつ

皆様、こんにちは。府中市長の高野律雄でございます。

このたび、府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会委員をお願いいたしましたところ、快くお引き受けいただき、また、本日、ご多用の中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、国は、人口減少に歯止めをかけることを目的に、平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その中で、「地方創生は、日本の創生であり、地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし、日本全体を引っ張っていく」ことを提唱しており、全国の各市区町村にも地方人口ビジョン及び地方版総合戦略を策定するよう求めています。

そこで、本市でも、将来人口推計の分析と将来展望を提示する人口ビジョンと、人口減少の克服と地方創生に関する政策目標や施策を定める総合戦略を策定するものでございます。

これから皆様にご審議いただく人口ビジョンは、2060年までの推計と展望を、また、総合戦略は今年度から平成31年度までの5か年に渡る目標になります。無いものねだりではなく、特色や強みを活かす自立性を目指す府中市らしい内容になるよう、皆様から様々なご意見やアイデアをいただきたいと思っております。

皆様におかれましては、お忙しいこととは存じますが、総合戦略等の策定にお力添えを賜りますよう、心からお願いを申しあげまして、ごあいさつとさせていただきます。

3 委員紹介

- 委員自己紹介（各委員）
- 事務局の紹介（事務局）

4 正副会長の選出

- 事務局から正副会長の案を提示してもらい、皆で協議してはどうか。（委員）
→一橋大学経済研究所教授の都留委員が会長、むさし府中商工会議所専務理事の並木委員が副会長という案を事務局から提示したところ、全委員から了承された。

- 会長あいさつ
- 副会長あいさつ

5 諮問書の伝達

6 議題

(1) 会議の公開について

- 資料4をもとに説明（事務局）
- 以前に参加した会議では、ほとんどテープ起こしの状態に近い会議録であり、発言が正確に起こされているかを丁寧に確認する必要がありましたが、今回の会議録はどのようなになりますか。（会長）
- 今回の議事録は要点記録であり、内容を全委員から了承いただき、公開します。（事務局）

●議事録の確認は締め切りがあると思いますので、協力をお願いします。

では、特に意見はないようですので、説明があった案で進めたいと思います。今日は傍聴希望の方がいらっしゃるとのことなので入室いただいでください。(会長)

→傍聴者が入場

(2) 府中市人口ビジョン及び府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の考え方について

●資料5をもとに説明(事務局)

●要点をまとめると、第6次府中市総合計画があるなかで、まち・ひと・しごと総合戦略を新たに策定する状況であり、総合計画と総合戦略の整合を取りながら進めていく必要があるとの説明でした。この基本的な考え方についてはよろしいでしょうか。特に意見はないようですので、まずはこの内容で進めていきたいと思います。(会長)

(3) 府中市の人口動向に関する課題認識について

●資料6-1および資料6-2をもとに説明(事務局)

●要点をまとめると、資料6-1の2ページ目に課題が提示されていて、資料6-2のグラフは、それらの根拠を提示しているということです。将来の動向分析から課題が提示されましたが、この6つの課題認識を基に総合戦略を検討していく方向性ですが、何か質問、意見があればお願いします。(会長)

●資料6-2の6頁の他市間移動の状況の資料が、これから議論していく中で、分かりやすいと思います。地域によって転入超過あるいは転出超過となっている状況の中で、これらの移動の数字をどうしていくかということが一つに論点になると考えています。(委員)

→23区以外は、転入が超過している状況です。若い世代の転出が多く、学生が就職の際に出て行くというような動きが考えられます。このような中で、若者の定住を促進する必要があります。(事務局)

●これは大変重要な課題です。インフローとアウトフローをもたらしている基礎にある要因は何かということ掘り下げていく必要があります。このたびの地方創生戦略のポイントは、大胆にまとめると、人口が急速に減少する地方の問題です。つまり、国レベルの総合戦略と府中市の総合戦略は異なるため、府中市版に読み替え、工夫していく必要があります。事務局から説明があった内容は、事実として受け止めるしかありませんが、これらの状況を導いている要因を把握し、これらをどうするかということを検討していく必要があります。(会長)

●資料6-2の4頁の転入・転出数、出生・死亡数の推移で、数字が上下しているのは何か特殊な要因があるのか。また、死亡が着実に増えているが、この状況を年齢3区分などで把握することは可能なのか。8頁の「年齢階級別地域別転入転出数」で、15～19歳と20～24歳が明らかに転入増となっているところに意味があるのか。9頁の「合計特殊出生率」は、これまでマイナスだった中で近年確実に増えているが、その要因は何だったのか。(副会長)

→4頁の出生数の増加は、特に大きな要因はないと考えており、女性の人数などが関係しているのではないかと考えます。死亡の年齢3区分の状況については、今は資料として持っていないため、特定できるかどうかも含め検討したいと思います。8頁の転入が20～24歳代が多い理由として、

学生が来ているのではないかと考えています。9頁の合計特殊出生率の関係についても、要因は特定できていませんが、子育ての施策を幅広く実施しており、その結果が現れていると考えています。(事務局)

●あくまで推測ですが、2000年代前半の社会増が多かった時期に、若者世代の割合が多く、その方たちが出産適齢期に入り、出生率の増加につながったのではないのでしょうか。(会長)

●府中市はマンションが増えてきているので、社会増が多い年は、それだけ若い人も入ってきて出生率が上がっているのではないだろうか。また、中学生まで医療費を無料にしたのがいつか忘れましたが、それも要因としてあるのではないだろうか。(委員)

→マンションの関係ですが、5頁の社会増減を見ると、2011～2015年の転入が多くなっていますが、ご指摘のように、大型マンションの建設がこの時期にあり世帯数が増加しています。それが影響して出生率が増えたとも考えられます。(事務局)

●資料6-1で大企業の転出のリスクが指摘されています。たしかに、特化係数が高いところに重点を置くのも重要です。しかし、地域雇用創出や社会進出に貢献しているような小さなコミュニティビジネスなどの企業をバックアップしていくことも重要です。コミュニティビジネスは、地域のコミュニティの側面からも重要だと考えます。(委員)

●人口の増減は結果変数であり、その原因をつくるものとして、生産年齢人口に関しては雇用やビジネスの創出、高齢者人口についてはまちの住みやすさやコミュニティの質であると考えています。このような検討は次回以降に行いたいと考えています。(会長)

(4) 府中市における総合戦略の方向性について

●資料7をもとに説明(事務局)

●この資料は、先ほど説明があった国の総合戦略と府中市の総合戦略の読み替え作業の部分です。(会長)

●国の総合戦略は主に地方都市や中山間地域をイメージしている傾向にあると思います。雇用について考える際にも、中山間地域での雇用問題と府中市での雇用問題は意味合いが異なると思います。府中市においては、単なる働き口の創出ということではなく、市内居住の促進やワークライフバランスの部分が雇用を考える上で重要であると考えています。(委員)

●この方向性は、あくまで「たたき台」ですので、今後、ここに書かれていない視点等についても、議論できればと考えています。(会長)

(5) アンケート調査結果の速報版について

●資料8をもとに説明(事務局)

●今回の速報版の資料は単純集計結果のみですが、次回の確定版では、クロス集計結果として、男女別や年齢別など、人口増減の原因と考えられるものをセレクトして分析してほしいと思います。ただし、このようなクロス集計は、やり出したら切りがないため、何をしたいのかということを目論んで進めてください。(会長)

●調査票についてですが、F5～F8の設問のつくりが複雑になっているため、少し読み取ることが難しくなっています。これらはどのように解釈すればよいのでしょうか。(委員)

→クロス集計を前提に設計させていただいており、その中で少しつくりが複雑になっていますが、集計上は問題ありません。(事務局)

●確定値が出てきた時でかまわないのですが、子どもを生み育てやすくするための重要な取組について、実際に府中市で行われている事業があれば説明していただきたいです。(委員)

→次回の会議では、子育て支援に関する府中市の現在の状況を説明させていただきます。(事務局)

(6) その他

●次回の開催は、8月20日午後3時からとなります。また、次回以降の開催候補日は、9月9日(午後)、9月29日(午後)であり、別途、メールでお知らせします。(事務局)

●次回の会議には参加できませんので、第3回目の会議までに第2回目の会議資料と議事録をいただきたいです。(委員)

→送付するようにします。(事務局)

以上